

Merry Christmas!



本日はギタークリスマスコンサートにご来場くださりまして、誠にありがとうございます。クリスマスコンサートは2000年と2009年にザ・ステアが中心となって開催しました。今回もザ・ステアは大活躍するのですが、ヴィンテージやプリマヴェーラなどの合奏団、独奏と多彩な重奏、そしてゲスト演奏で素敵なクリスマスになるよう、準備しました。

可能ならばクリスマスコンサートは毎年開催したいところですが、コンサートの準備とホール抽選のくじ運に拠るところ大で、なかなか思うようには参りません。しかし何と今年は神のご加護でもあったのでしょうか、最も強く希望していたここアブリコをゲットできました。しかも日曜日でクリスマス当日です。この幸運をみんなで楽しもう！ ということで、入場無料にしました。音楽のクリスマスプレゼントです。どうぞ楽しい音楽をお受け取り下さいませ(^.^♪

本日は4部構成です。**第1部**はザ・ステアの演奏とギター独奏、**第2部**はプリマヴェーラとヴィンテージの合奏、ステアトリオのほか、ゲストにさとうGO!さんをお迎えし、自作の楽しい弾き語りをお届けします。**第3部**では多彩な重奏を用意しました。ゲストには日本を代表するプロギターカルテット、クアトロ・パロスの前田 司さんを迎えて重奏をお届けします。**第4部**ではザ・ステアのクリスマスソング・メドレーをお楽しみください。

ご来場くださいました皆様方の思い出に残るクリスマスになれば何よりです。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。また、今日のコンサートのために一生懸命努力した出演者各位に敬意を表します。さらに、出演者のご家族や関係者には幾多のご負担をおかけしたことと思います。そのご理解とご協力にこの場を借りて心よりお礼申し上げます。



2016年12月25日

シグマギタースクール
加藤繁雄

1. ザ・ステア：合奏協奏曲第8番 クリスマスコンチェルト (A.コレッリ～加藤編)



原 静雄・赤尾政登・太田登希子・金山茂弘・田中孝子・伏見晃司・下村次郎・鶴田^{のりみち}至道・松井謙治・加藤繁雄

アルカンジェロ・コレッリ (Arcangelo Corelli, 1653-1713) はヴィヴァルディやバッハにも多大な影響を与えたイタリアの作曲家です。コレッリの作品は旋律の美しい流れと伴奏パートの丁寧な扱いが特徴的で、それゆえコレッリが古風な対位法の厳格な規則に囚われず書かれています。クリスマス協奏曲は全12曲からなる合奏協奏曲作品6の第8番で、コレッリ没後の1714年に出版されました。終楽章ではコレッリ自身が「キリスト降誕の夜のために」と併記した“パストラレ (羊飼いの音楽)”という緩やかな曲を有し、しばしばその部分だけが演奏されます。日本の賑やかなクリスマスとは一風違う、本来の雰囲気である静けさに満ちた曲は、まさに聖夜という趣であり、聴く側も心が洗われるような感じがすることでしょう。

2. 独奏

★アディオス・ノニーノ (A.ピアソラ～L.ブラーボ編) /演奏：伏見晃司

アストル・ピアソラ (Astor Piazzolla, 1921-1992) はアルゼンチンの作曲家、バンドネオン奏者で、タンゴを元にクラシック、ジャズの要素を融合させて独自の演奏形態を産み出しました。アディオス・ノニーノ (Adiós Nonino) はピアソラ初期の作品で、1959年、ファン・カルロス・コーペス舞踏団とともにプエルトリコ巡業中に父親ピセンテ (愛称ノニーノ) が故郷で亡くなった知らせを受けました。しかし、ピアソラにはアルゼンチンに帰る旅費がなく、ニューヨークに戻り、失意のなかで亡き父に捧げて作曲したのがアディオス・ノニーノです。

★盗賊の歌・聖母の御子 (カタロニア民謡～E.S.デ・ラ・マーサ編) /演奏：下村次郎

スペインからの独立がしばしば話題になるカタロニア (カタルーニャ) 地方 (州) ですが、この地区はカタロニア語と呼ばれる独特な言葉が使われています。そして、ここの州都がバルセロナです。普通スペイン語とされるカステリア語とは全く通じ合わないという事もないようですが、色々複雑な事情が絡む様です。この地方では美しい民謡が多くあり、〈盗賊の歌〉〈聖母の御子〉はリョベットの名アレンジで昔から演奏されてきました。しかし今回演奏する〈盗賊の歌〉はレヒーノ・サインス・デ・ラ・マーサの弟、エドワード・サインス・デ・ラ・マーサによる編曲です。〈盗賊の歌〉は、カタロニア地方の盗賊が、富める者から金品を奪った帰り道、馬上でさわやかな声で朗々と歌ったのが原曲だそうです。そしてその盗品を貧しき者に分かち与えたというのですから、スペイン版“ねずみ小僧次郎吉”でしょうかね(^^; 〈聖母の御子〉は聖母マリアから生まれたキリストのことなので、間違いなくクリスマスソングです。

★タレガ小品集 (F.タレガ) ・バーデンジャズ組曲第1楽章 (J.イルマル) /演奏：加藤繁雄

“近代ギター之父”と称されるフランシスコ・タレガ (Francisco Tárrega, 1852-1909) は、スペインの作曲家・ギタリストで、アランプラの思い出、カプリチオ・アラベなどの名曲のほか珠玉の小品が有名です。本日はラグリマ・アデリータ・マリア・マリエッタの4曲をメドレーで演奏します。ラグリマ (涙) 以外は全部女性の名前です。

イルジー・イルマル (Jiří Jirmal, 1925-) はチェコの作曲家で、40歳の時に交通事故にあい演奏家を断念しました。その後作曲をはじめ、現在はプラハ音楽院の教授で、学生たちは国際コンクールで優勝・入賞し、すぐれた指導力を発揮しています。ジャズやサンバ、ボサノヴァといったラテンアメリカ音楽のリズムを取り入れた〈バーデンジャズ組曲〉は1989年に出版され、クラシックギター界に新風を吹き込みました。ブラジルの天才ジャズギタリスト、バーデン・パウエル(1937-2000)に捧げられた作品で、I. シンプリシタス II. 子守歌、III. ロンド・アラ・サンバ の3楽章からなる作品です。中でもボサノヴァの要素を含んだシンプリシタスは人気ナンバーとなっています。

3. ザ・ステア

★弦楽六重奏第1番 Op.18より第2楽章（J.ブラームス～加藤編）

ヨハネス・ブラームス（Johannes Brahms, 1833-1897）は19世紀ドイツの作曲家で、バッハ、ベートーヴェンと共にドイツ音楽の「三大B」とも称されています。弦楽六重奏曲第1番は1860年、27歳の時に作曲されました。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロがそれぞれ2人ずつの編成からなり、重厚で陰影豊かな響きを生みます。ギターではジョン・ウィリアムズとジュリアン・ブリームの2重奏が絶品ですが、ギターアンサンブルではよりオリジナルに近い響きを目指して取り組んできました。

★アルルの女第2組曲より第4番ファランドール（G.ビゼー～加藤編）

ジョルジュ・ビゼー（Georges Bizet, 1838-1875）が1872年に書いた、27曲におよぶ〈アルルの女〉から第2組曲の4曲目がファランドールです。この曲は“3人の王の行列（王の行進）”と“馬のダンス”の2種類の民謡をもとに作られています。特に冒頭の主題は広く知られており、その荘厳さとプロヴァンス太鼓を使用した活気あるテンポから、アンコールナンバーとしても人気が高い曲です。

【第2部】 14 : 10

4. プリマヴェーラ：魔女の宅急便よりユーミンメドレー（荒井由実～加藤編）



大野明日子・所 秀展・岩崎富美子・友田明文・森山^{わか}幼^な菜・岩村チヨ・青沼酉子・小林良太・加藤繁雄

2013年に結成したプリマヴェーラ(Primavera)は、イタリア語で“春”を意味します。春に結成した合奏団です。本日はジブリの名作『魔女の宅急便』からユーミン（荒井由実）が作曲した〈やさしさに包まれたなら〉と〈ルージュの伝言〉をメドレーで演奏します。

いや、待てよ……、ユーミンには素敵なクリスマスソングがあったじゃないか！ そう！ 〈恋人はサンタクロース〉です。ということで、この曲もメドレーにしました。ぜひお楽しみください。

5. ヴィンテージ：アダモメドレー（S.アダモ～加藤編）



三巻 弘・安田喜久男・辰野 悟・森田文子・吉田浩二・豊島^{ただきよ}定清・嶋田昭仁・小森^{みやた}喜矢太・島村慎一郎・加藤繁雄

2011年に結成したVintageです。入団資格は①シグマギターで学んでいること、②年齢は50歳以上であること、の2つです。熟成ワインVintageのように、大人の味を出すアンサンブルを目指していますが……（^^； 本日演奏する曲はアダモのヒットナンバーから〈雪が降る〉〈サン・トワ・マミー〉〈ろくでなし〉の3曲メドレーです。サルヴァトーレ・アダモ（Salvatore Adamo, 1943-）はイタリアのローミ（シチリア）で生まれたベルギーの作曲家、歌手。レジオンドヌール5等受勲。日本公演は30回以上で、熱烈なファンも多数。

6. ステアトリオ (加藤繁雄・原 静雄・伏見晃司)

★小フーガ ト短調 BWV578 (J.S.バッハ～加藤編)

フーガ ト短調 BWV578 は、ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750) のオルガン曲で、作品番号の無い時代に幻想曲とフーガ BWV542との混同を避けるため、前者を小フーガ、後者を大フーガと呼んでいたそうです。

日本では〈はげの歌〉という替え歌で子供たちによく知られているそうですが……。私はその替え歌を全く知りませんでした(-.-)



★星空のピアニスト(P.センヌヴィル & O.トゥッサン～加藤編)

“ピアノの貴公子”と呼ばれるリチャード・クレイダーマン (Richard Clayderman, 1953-) のナンバーから〈星空のピアニスト〉を取り上げました。クレイダーマンは1953年パリ郊外のロマンヴィルで生まれ、幼少時よりピアノに親しみ5歳で作曲を始め、16歳でコンセルバトワールを首席で卒業し、最終的にポピュラー音楽の道を選びます。デビュー曲は渚のアデリーヌ (Ballade pour Adeline) でした。日本では化粧品のCMに使われたり、NHK趣味悠々のピアノ講師を受け持つなど、主婦層を中心に圧倒的な支持を受けています。

東日本大震災があった2011年、多くの海外アーティストが日本公演をキャンセルする中、クレイダーマンは予定通り日本公演を行いました。翌年には被災地を訪問し、多くの人を勇気づけました。

星空のピアニスト (Lyphard Melody) は1977年、2枚目のアルバムに収録されました。この曲を聴いて満天の星空を思い描いていただけたらシアワセです。

7. 《特別ゲスト》 さとう GO! 弾き語りコーナー

- ★終点、蒲田。(作詞・作曲：さとう GO!)
- ★あ・え・て大森 (作詞・作曲：さとう GO!)
- ★クリスマス海峡 (作詞・作曲：さとう GO!)

《さとう GO! プロフィール》

仙台生まれで水戸、東京、大阪育ち(父親が北海道小樽出身)。現在は東京都大田区大森在住。大阪での学生時代にギターと出会う。大阪では猪居信之先生、東京では加藤繁雄先生に師事。原 荘介先生の薫陶も受け、日本クラシカルギターひき語り協会理事長を務めている。福祉施設で働くかわら、休日に都内を中心に音楽活動を展開中。ライブハウス、飲食店、商店街イベント、福祉施設などに出演。地元大森のフォーク居酒屋「風に吹かれて」では、年3回のペースで自主企画ライブ「大森昭和歌謡ショー」を開催。レパートリーはオリジナル曲の他、昭和の歌謡曲が中心。「流し」のスタイルを取り入れたステージや、お客様の音程やテンポに合わせた歌伴奏リクエストも好評。本名：佐藤 豪



8. JOYS Guitar Trio (加藤繁雄・辰野陽子・下村次郎)



下村次郎さんの「J」、辰野陽子さんの「Y」、加藤繁雄君の「S」、そして3人に共通するアルファベット「O」の4つを組み合わせて「JOYS」になることから、JOYS Guitar Trioという名前で2015年1月に結成しました。演奏する私たちが喜びを感じ、聴いてくださる方々も喜びを感じていただけるグループを目指しています。今後の活躍にご期待ください。

★コルドバ (I.アルベニス～加藤編)

イサーク・アルベニス (Isaac Albéniz, 1860-1909) はスペインのカタルーニャ、カンプロドンに生まれ、南仏の保養地カンボ・レ・バンに没したピアニスト・作曲家です。4歳で公開演奏、10代前半での南アメリカ大陸放浪など、早熟ぶりを示すエピソードが数多く残っています。1883年からはバルセロナやマドリッドで作曲、コンサート活動を行い、自国の歌やリズムを素材にした独自の作曲スタイルを完成していきました。1893年からのパリ生活は、ダンディ、フォーレ、デュカスらと親交を結び、彼らの作品に刺激を受けて、より高度な作曲技法を確立しました。

〈コルドバ〉はピアノ曲集、組曲『スペインの歌』全5曲中の4曲目になります。イスラム文化が漂う街コルドバの、夜明け前から朝を迎えてだんだん賑わってゆく様子を描いた作品で、ギター独奏としても良く演奏されています。

9. ステアカルテット (加藤繁雄・原 静雄・伏見晃司・赤尾政登)

★花のワルツ (P.I.チャイコフスキー～加藤編)

チャイコフスキー (Peter Ilyich Tchaikovsky, 1840-1893) の代表作『くるみ割り人形』は、2幕3場からなるバレエ音楽で、〈花のワルツ〉は第2幕13曲目の作品です。アンドリュウ・ヨークがギター4重奏に編曲し、ロサンゼルス・ギターカルテットが見事な演奏をして以来、ギターアンサンブルファンにとってぜひとも弾きたい曲になっています。大変美しい曲で、TVのCMなどでもお馴染みだと思います。色々な花が咲きほこり、踊っている様子を感じていただけたなら何よりです。



★ティコ・ティコ (Z.アブレウ～加藤編)

原曲はブラジルの作曲家ゼキーニャ・デ・アブレウ (本名ホセ・ゴメス・デ・アブレウ, 1880-1935) が1917年に作曲したラテンソングです。正式なタイトルはティコ・ティコ・ノ・フバ。"ティコ・ティコ"は雀に似たカラフルな小鳥で"フバ"はトウモロコシや米など穀物の粉のこと。一生懸命に粉を挽く農民と、その粉を次々に食べてしまうティコ・ティコの様子をユーモラスに歌ったもので、いわばブラジル版「権兵衛が種まきやカラスがほじくる」といったところです。この作品はのちに、アメリカに進出したサンバ歌手カルメン・ミランダが映画コパカバーナ (1947年) のなかで歌い、世界的なヒット曲となりました。

10. ハニカムズ (原 静雄・下村次郎・辰野陽子・加藤繁雄・伏見晃司・赤尾政登)



★ギター六重奏のためのモッキンバード (パッサカリア) Mockingbird(藤井眞吾、2013)

2013年10月に日本ギター合奏連盟が20周年特別イベントとしてギター合奏作曲コンクールを開催しました。日本国内のみならず、世界各地から15点の応募があり、3名が予選を通過しました。その中の一人がテキサス州にお住いのオルガ・アメルキーナ・ヴェラさんでした。本戦審査員の一人に藤井眞吾先生(京都在住)がいて、オルガさんとは面識があったようです。後日知ったのですが、コンクールの応募を勧めたのは藤井先生とのことでした。オルガさんはテキサスから日本に来ることを躊躇していたのですが、私(事務局)とメールのやり取りをしているうちに来ることを決めました。そこで、どうせ来るならコンサートを企画して日本のギターファンにアピールしてはどうですか? と提案したら、願ってもないチャンスと快諾してくれました。コンサートはクアトロ・パロス ジョイントコンサート〜オルガさんを迎えて〜というタイトルで、クアトロ・パロスなどのカルテット4組(ステアカルテットも参加)とオルガさんソロの2部構成にしたのですが、ふと「オルガさん・私・クアトロでアンコールに6重奏したいなあ……」と思い、藤井先生にオリジナルの6重奏はないか問い合わせました。当初はいくつかを推薦して頂いたのですが、ある日「加藤さん、6重奏曲を作るからそれを弾いて」とのご提案。びっくりです。そうして生まれたのが本日演奏するモッキンバードです。タイトルのモッキンバードは「マネシツグミ」というテキサス州に住む小鳥で、インコのように音を真似る鳥だそうです。藤井先生のハートが詰まった作品だと思います。ちなみにオルガさんは作曲コンクール第1位を受賞しました。

ハニカムズはミツバチの巣がハニカム構造(honeycomb structure)という正六角形になっていることから命名しました。

11. SS7 (加藤繁雄・千葉由紀・吉田浩二・田中孝子・吉澤順子・松井謙治・望月敬志)



★ロビンソン (草野正宗〜加藤編)

ロビンソンはスピッツが1995年に出した11枚目のシングルです。曲名は草野正宗がタイを旅行したとき、強く印象に残っていたというロビンソン百貨店から命名されました。タイトルと歌詞には関連性がなく、歌詞の中にも「ロビンソン」という言葉が一切登場しません。ロビンソンが大好き、弾きたい! というメンバーでSS7(Sigma Sophia Septet)を結成しました。

★情熱大陸（葉加瀬太郎～平倉信行編～加藤編）

『情熱大陸』はTBS系列局で毎週日曜日の23：00-23：30に放送されている人間密着ドキュメンタリー番組で、葉加瀬太郎作曲のテーマ曲〈情熱大陸〉は第39回から使われています。ゲストで葉加瀬太郎を取り上げた際に〈Etupirka〉を披露したところ、当時の番組プロデューサーから番組のエンディングとして使いたいとの申し出があり、同時にオープニングも作ってほしいとの依頼を受けました。締め切りまで1週間のスケジュールだったため、当時ライブで披露していた全く異なる2つの曲のAメロとBメロを組み合わせ、30秒に収めたのが今日演奏するオープニング〈情熱大陸〉誕生のいきさつです。

12. 《ゲスト演奏》 Duo Magica（前田 司・加藤繁雄）

★ファンタジーOp.54bis（F.ソル）

《前田 司プロフィール》

12歳からギターを始め、現在までに小泉 広、糸山泰弘、北沢重晴、畑内 浩、佐野正隆、加藤繁雄各氏に師事。2002年第27回GLC学生ギターコンクール大学生の部第1位。2006年第18回日本ギター重奏コンクール第1位&HARUMI賞も同時受賞。同年第24回スペインギター音楽コンクール第1位。

齊藤泰士・萩野谷英成・多治川純一とのギター4重奏団「クアトロ・パロス」のメンバーとして演奏活動を行い、2015年1stCD〈¡Leva!〉、2016年2ndCD〈Amanecer〉をリリース。芸術集団2008所属アーティスト。公益社団法人日本ギター連盟正会員、日本ギタリスト協会委員、日本ギター合奏連盟常任理事。

〈Duo Magica〉

前田の「ma」、guitarの「gi」、加藤の「ca」の3文字を取り、マジック（魔法）的な感動と興奮を生もう！ということで命名しました。本日がデビューです。間近にいるギターデュオです。ところでこれ、マジか…!?



古典ギターの最高峰フェルナンド・ソル（Fernando Sor, 1778-1839）はスペインのバルセロナに生まれ、モンセラート修道院で音楽の基礎を学び、18歳でオペラを作曲し成功を収めました。ギター弦の本数が未確定の当時、ナポリの名ギタリスト、モレッティの影響で6弦ギターが確立し始め、ソルは6弦ギターの作品を書き始めています。1813年専制君主フェルナンド7世が王位を回復するとフランスに亡命し、その後イギリス、ロシアなどに渡り、ギター作品のほか色々な器楽曲や歌曲を書いています。1827年から晩年まで再びパリに住み、ギター教則本や名曲を書き上げ、1837年故国スペインへの思いを胸に抱きながら舌癌で世を去りました。ファンタジーOp.54bisは遠い故里となったスペインに思いを馳せて書いた1833年の作品です。



13. ザ・ステア

★トレロ・カモミロ (M.パガーノ～加藤編)

トレロ・カモミロ(Il torero Camomillo)は、フランコ・マレスカ作詞、マリオ・パガーノ作曲のイタリアの歌曲で、1968年に行われたイタリアの第10回ゼッキノ・ドーロの入賞曲です。高名で勇敢だが、戦うよりも寝ることの方が好きな闘牛士カモミロの様子を歌った歌で、日本ではNHK『みんなのうた』で1970年に初めて放送されました。カスタネット：加藤由美

★クリスマスメドレー ホワイト・クリスマス～まきびと羊を～ジングルベル (加藤編)

〈ホワイト・クリスマス〉(White Christmas)はベラルーシ生まれのアメリカの作詞・作曲家であるアーヴィング・バーリン (Irving Berlin, 1888-1989) の作ったクリスマスソングで、ビング・クロスビーが歌ったバージョンは、歴代で最もよく売れたシングルとされています。甘美なメロディーは、恋人たちのクリスマスというイメージがピッタリです。クリスマスに雪が降ればホワイト・クリスマスです！

〈まきびと羊を〉(The First Noel)は16世紀頃から存在するイギリスのクリスマス・キャロルで、讃美歌103番となっています。ノエルとはフランス語でクリスマスの季節や歌(クリスマス・キャロル)を指します。

〈ジングルベル〉(Jingle Bells)は1857年に牧師ジェームズ・ピアポント (James Pierpont, 1822-1893) がジョージア州サヴァナの教会で開かれた感謝祭のために作詞した歌で、最初のタイトルはOne Horse Open Sleigh (1頭立てのソリ)でした。原曲の歌詞は、ソリにつないだやせ細った馬が雪の吹き溜まりに突っ込んでひっくり返り、そこへ通りかかった紳士が大笑いして去っていったというストーリーが描かれています。大変好評であったためクリスマスでも歌われ、その後アメリカ中に広まっていき、タイトルもジングルベルに変わったということです。ソリは危険防止のため、ベルを付けて走る乗り物ですね！ 3曲をメドレーでお楽しみください。

★聖夜 (きよしこの夜) (F.グルーバー～加藤編)

作曲したフランツ・クサーヴァー・グルーバー (Franz Xaver Gruber, 1787-1863) は、19世紀オーストリアの小学校教師で、教会オルガン奏者です。親友で司祭のヨゼフ・モールとみんなで歌えるクリスマス・キャロルを考えていたときに、ギターで〈きよしこの夜〉を作曲しました。そのエピソードをご紹介します。

1818年12月23日、オーストリアのオーベルンドルフ、聖ニコラウス教会ではクリスマスを直前に控え、大変深刻な問題が発生していました。いつも使っているオルガンの音が出ないのです。その年は大変な飢饉で、飢えたネズミがオルガンの空気袋をかじったと言われています。クリスマスに歌う賛美歌の伴奏ができなくなり、急遽ヨゼフは“Stille Nacht”の詞を書き上げ、グルーバーにギターで伴奏できる讃美歌を作曲してほしいと頼みました。グルーバーは最初「教会でギターを弾いても誰も気に入ってもらえないのではないか？」と躊躇していましたが、ヨゼフの説得もあって曲をつけることを了承しました。グルーバーは一晩中懸命に考え続け、ついにこの曲を完成させたのです。曲が完成したのは教会でミサが始まるわずか数時間前のことでした。このシンプルで美しいメロディーは人々の心に染み込み、涙を流して感動したという逸話が残っています。そして世界中にその曲は広まり、クリスマスには世界中で歌われるようになりました。ギターの持つ柔らかい響きが人々の琴線に触れたのだと思います。その歌を作ったと言われている教会が、今もザルツブルク州のオーベルンドルフ・バイ・ザルツブルクに残っているそうです。



ステアの伴奏で、全出演者が歌います。皆様もご一緒にどうぞ。(楽譜は次ページ)

聖夜

きよしこの夜

Words & Music by J.Mohr & F.Gruber

Melody

Guitar

4

7

10

きよしこの夜
きよしこの夜
ほしは
ひかりし
すくいの
みこは
みこの
むねに
ねむりた
もう
ゆめやし
くて

C C G7 C F C G7 C

※ザ・ステアは変ロ長調 (B♭) で演奏しています。

★ザ・ステア (1988年結成 団長：赤尾政登)



原 静雄



赤尾政登



太田登希子



金山茂弘



田中孝子



伏見晃司



下村次郎



鶴田至道



松井謙治

どの合奏団もメンバー
随時募集中！
あなたも仲間に入って
ください！

★プリマヴェーラ (2013年結成 団長：大野明日子)



大野明日子



所 秀展



岩崎富美子



友田明文



森山幼菜



岩村チヨ



青沼酉子



小林良太

★ヴィンテージ (2011年結成 団長：辰野 悟)



三巻 弘



安田喜久男



辰野 悟



森田文子



吉田浩二



豊島定清



小森喜矢太



島村慎一郎

★重奏メンバー(SS7,JOYS Guitar Trio)



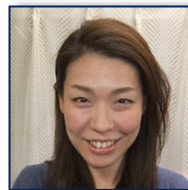
千葉由紀



吉澤順子



望月敬志



辰野陽子



加藤繁雄

《楽器紹介》

ザ・ステアが使用しているアンサンブル用ギター

- | | |
|--------------------------|------------------------------------|
| ●ソプラノギター(Soprano Guitar) | 普通のギター（プライムギター）より1オクターブ高く調律する。 |
| ●アルトギター(Alto Guitar) | 普通のギター（プライムギター）より完全5度高く調律する。 |
| ●プライムギター(Prime Guitar) | 普通のギターをアンサンブルで使用するときの言い方。 |
| ●バスギター(Bass Guitar) | 普通のギター（プライムギター）より完全4度低く調律する。 |
| ●8弦ギター(8st.Guitar) | 普通のギターの①弦より高い弦（ラ）と⑥弦より低い弦（シ）を併せ持つ。 |

Σ シグマギタースクール 生徒募集中!!!

ギターが弾けたらいいなあ……と思ったらお電話ください
初歩からていねいに指導します

クラシック・アコースティック・エレキ・ベース・アンサンブル・コード理論

JR 大森駅東口徒歩3分 ミルパ商店街内（11：00～22：00）

〒143-0016 東京都大田区大森北 1-35-1 増尾ビル 3階

TEL&FAX : 03-3761-6719 kato@sigumaguitar.com

<http://www.sigumaguitar.com/> YouTube も HP から

